

えっ?! 今度は「水道料金値上げ」って! ホント?

議員は報酬を
年間 220 万円もアップして

→ 市民には
「水道料金値上げ」とは?

誰のための
市議会?

日本共産党が今年実施した市民アンケートによると、市民の多く（80%以上）が物価高で暮らしの厳しさを訴えている（図1）なか、今年3月から議員報酬が年間220万円以上引き上げられました（表1）。

一方市民には、来年4月から水道料金を一般家庭で20%以上引き上げる計画で、今度の9月議会で決める予定です。再来年には下水道料金も引き上げをねらっています。

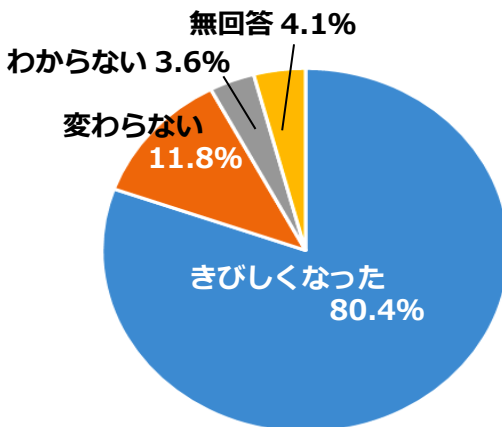


図1) 今の暮らし向きはいかがですか？
(2024年日本共産党実施アンケートより)

表1) 議員報酬引き上げに対しての賛否 (2024年3月議会)

会派	賛否
日本共産党	反対
自民党・創成クラブ	賛成
自民党政清クラブ	賛成
つくば市民ネット	賛成
公明党	賛成
1人会派 (5名)	賛成

市民の願いは、「公共料金の引き下げ」

市民アンケートに寄せられた「市政にのぞむこと」ランキングでは、「公共料金引き下げ」は、どの年代でもベスト2（表2）に入っています。

何よりもこの願いにこたえるべきです。

表2) 市政に望むこと年代別ランキング

	10~20代	30~40代	50~60代	70歳以上
1位	公共料金引下げ 69.6%	子育て支援拡充 61.8%	公共料金引下げ 63.0%	国保・介護税引下げ 60.7%
2位	子育て支援拡充 65.2%	公共料金引下げ 54.2%	国保・介護税引下げ 48.8%	公共料金引下げ 49.7%
3位	国保・介護税引下げ 39.1%	教育環境の充実 38.7%	公共交通の拡充 42.5%	公共交通の拡充 42.9%

7億円以上の黒字が続くつくば市の水道会計=市民に還元すべき

表3のとおり、令和3年度8億4千万円、4年度は7億1千万円と水道会計は利益を出しています。この傾向はさらに続きます。

料金を引き上げるところか、黒字分は市民に還元すべきです。

※常陸太田市では、新型コロナウイルス感染対策として、市民や事業者の生活、経済活動を支援するため、水道料金の基本料金3カ月間（令和4年12月分～翌年2月分まで）減免を実施。

表3) つくば市の水道会計推移

年度	純利益額
平成30年度	5億7千万円
令和元年度	6億6千万円
令和2年度	6億6千万円
令和3年度	8億4千万円
令和4年度	7億1千万円

日本共産党は3議席で 市民の願い実現のため全力で頑張ります



水道料金値上げストップ
めざし全力で頑張ります

議員の仕事は、国・県の悪政の防波堤となる市の役割がきちんと果たされているか、市民の暮らし向上のために機能しているかを市民の目線でチェックすることです。

日本共産党は、10月市議選で3議席（橋本けい子・山中まゆみ・佐藤せつ子）を確保し、「議案提案権」を活用して、市民の暮らし優先の市政実現をめざします。



ネット署名受け付けています

水道料金値上げ反対署名にご協力ください

JCP TSUKUBA news

新しいつくば

2024年
8月号外

発行：日本共産党つくば市委員会 日本共産党の見解をお知らせします
〒305-0023 つくば市上ノ室363-7 TEL029 (863) 0045 FAX (863) 0028
Mail: tsukuba.jcp@nifty.com

山中まゆみ市議質問項目

- ・市内小中学校の学校環境及び周辺環境について
- ・民間の不登校児童生徒支援施設運営者への補助事業について
- ・市職員の職務環境について
- ・つくばまちなかデザイン株式会社について



○早急に改善を 市役所の時間外手当未払い(サービス残業)・パワハラ問題について

5月9日報道で、市職員の時間外手当の未払いが発覚しました。庁内部署によっては「予算額をこえないように」と不適切な指導があり、時間外労働時間の申請控えが常態化しており、サービス残業が続いていました。

人手不足をサービス残業でカバー

市役所の業務によっては、1人当たりの業務量が多すぎ、人員が不足していましたが、サービス残業でカバーしてきました。この異常な事態の改善を所属長に求める職員もいましたが、部署を異動させられたり、意見を聞いてもらえないことが続いてきました。

「総務部管理に」を提案

山中まゆみ市議は、「勤務時間管理は所属長にまかせず、総務部管理で一本化しては」と提案。五十嵐市長は「どうすれば、繰り返さないようにするか、改善が必要」と述べざるを得なくなりました。

寄せられた「ハラスメント相談者へのいやがらせ」の声

山中市議には職員から「市のハラスメント相談窓口にも相談しても解決されない。相談したことが上司にばれ、さらなる嫌がらせを受けている」との声が寄せられました。

山中市議は「相談窓口での対応の見直し、加害者への教育等強化する」ことを求めました。

○過大規模校で起きている問題解決に

文科省は「適正な学校規模の条件」として、学校の学級数を12~18学級と定めています。

つくば市では昨年度まで1学年が12クラスにもなる学校がありました。新設校に分離されましたが、それでも1学年8クラスの学年があります。

教員負担が過大な学校運営

学年のクラスが多いことで、運動会を学年ごとに開催、遠足は2~3回に分けて実施、プールも民間や他校のプールまで借りていました。

早急な教育環境改善と調査を求める

山中市議は「今年学校等適正化配置計画の見直し年度、新設校の検討もすべきでは。子ども達や先生への影響について、専門家の調査」を求めました。教育長からは「課題の洗い直しをしていく」との答えでした。

橋本けい子市議質問項目

- ・荃崎第二小学校児童クラブについて
- ・荃崎給食センターの早期建て替えについて
- ・保育所等について
- ・みどりの南小中学校の通学路の安全対策と高速道路への防護壁設置について



○荃崎給食センター廃止でなく早期建て替えを —— 市民の署名2千人集まる

荃崎学校給食センターは地元産の野菜を活用し、配送時間も短く、おいしい給食をめざしてきました。地元は建物の老朽化で、建て替えを求めてきました。

まともに答えない教育局長

ところが市は、大規模給食センターの完成にともない、荃崎センターの廃止を事実上決めました。荃崎センターの建て替えを求める橋本けい子市議に対し、教育局長は質問にまともに答えていません。

2か月で2千筆の署名

地元ではセンターの建て替えを求める市民署名に、ほとんどの方がこたえて、この2か月で2千人に到達しています。

○岩崎保育所跡地に児童クラブの建設を

寄せられる切実な声

荃崎第2小学校児童クラブは、現在73名の児童が利用しています。小学校の空き教室1階部分では足りず3階の空き教室まで使用しています。

3階教室はクーラーがなく猛暑が続く夏は大変です。しかも指導員同士の連絡はトランシーバーです。隣接する保育所跡地を児童クラブ室にと、地元の声があります。

寝耳に水の「給食レストラン建設計画」

ところが突然、同地に給食レストランを建設する計画を市が発表、地元にとっては寝耳に水の話です。

橋本けい子市議は、「保育所跡地に児童クラブ室を建設し、安全で豊かな放課後の活動を保障していくこと」を求めました。ところが子ども部長からは「クラブ棟を建てる考えはない。」クーラーがない3階についても「1階に空き教室ができるのを待つ」と冷たい答弁。

自治体の責任を果たせ

橋本市議は「独立したクラブ棟で、豊かな放課後を保障するのは、自治体の責任なのではないでしょうか」と語っています。